

ホップべと病・うどんこ病の効果的かつ低コストな防除体系

【1 成果の概要】

- (1) べと病防除体系：6月下旬と7月中旬にマンジプロパミド水和剤（商品名：レーバスフロアブル）を散布し、その1週間後の防除は省略する新たな防除体系により、現地慣行の防除体系と同等以上の防除効果が得られます（図1）。
- (2) うどんこ病防除体系：毛花開花期～穂花期にテブコナゾール水和剤（商品名：オンリーワンフロアブル）およびピラクロストロビン・ボスカリド水和剤（商品名：ナリアWDG）を散布する新たな防除体系により、現地慣行の防除体系と同等の防除効果が得られます（図2）。
- (3) 以上より、ホップべと病・うどんこ病（灰色かび病も同時防除）の防除体系は表1の通りとします。また、この防除体系により現地慣行と比較して防除経費が低減できます（表2）。

表1 ホップべと病およびうどんこ病の新たな防除体系

時期	4～5月	6月		7月			8月
		...	下旬	月上旬	中旬	下旬	月上旬
ホップ生育	株ごしらえ時	主茎伸長期	発蕾期	毛花開花期		穂花期	
防除	ユニフォーム粒剤	...	レーバスフロアブル	銅剤+	オンリーワンフロアブル	レーバスフロアブル	ナリアWDG 状況に応じて銅剤等

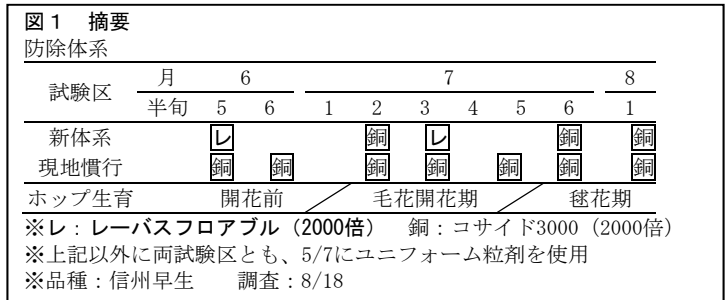
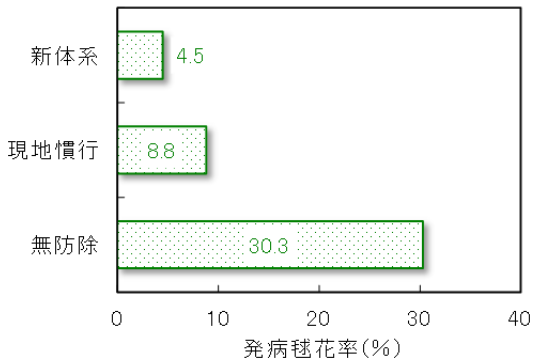


図1 ホップべと病に対する各防除体系の防除効果（平成27年、軽米町）

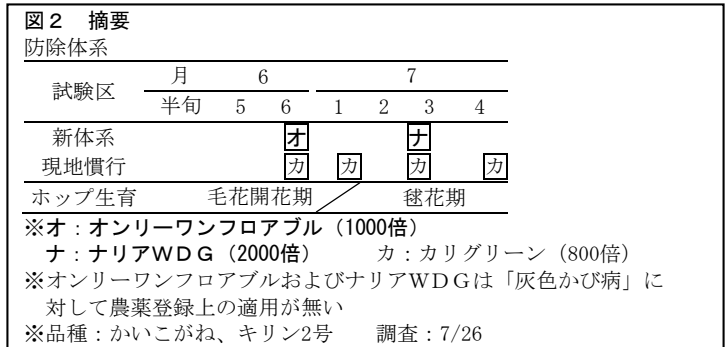
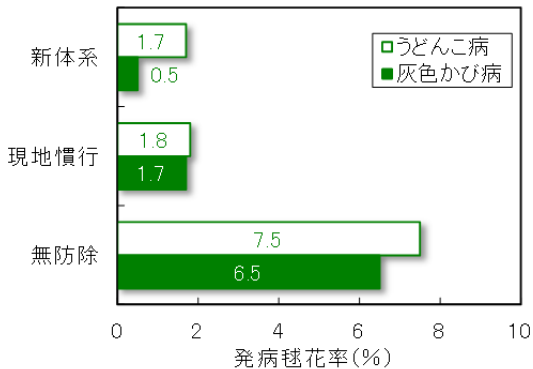


図2 ホップうどんこ病および灰色かび病に対する各防除体系の防除効果（平成28年、奥州市）

表2 現地農家圃場における体系防除試験事例

試験区	4～5月		6月		7月				8月				病害防除回数	防除経費 (円/10a)	
	半旬	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3			4
新体系	粒		レ		銅オ		レ	ナ		銅		銅	銅	7	31,151
現地慣行	粒		銅		銅	銅カ	銅	銅カ		銅		銅	銅	9	36,102

※防除経費は県内農業小売店の各薬剤販売価格をもとに、散布量 500L/10a、1回の防除につき作業時間 1時間/10a×2人×1000円/時間/人として試算

【2 注意事項】

- (1) 防除時期は各産地または各年のホップの生育ステージに応じて決定します。
- (2) 化学合成農薬に対する薬剤耐性菌の出現を回避するため、同一薬剤の連用は避けましょう。
- (3) 気象条件によっては病害の発生が助長される場合があるので、追加防除を行いましょう。